

新代田地区防災計画

[令和 3 年修正]

【目次】

1. 新代田地区の特性

- (1) 自然特性新代田-1(-241-)
- (2) 社会特性新代田-2(-242-)
- (3) 地域危険度.....新代田-4(-244-)
- (4) 被害想定新代田-5(-245-)
- (5) 防災資源一覧新代田-8(-248-)
- (6) 防災資源マップ新代田-9(-249-)

2. 各団体の防災活動～現在の取り組み状況～

- (1) 集計表新代田-10(-250-)

3. 新代田地区の課題と今後の取り組み

- (1) 情報収集・情報伝達新代田-17(-257-)
- (2) 地域・コミュニティ作り新代田-18(-258-)
- (3) 安否確認・要配慮者支援新代田-20(-260-)
- (4) 初期消火活動新代田-21(-261-)
- (5) 避難誘導新代田-23(-263-)
- (6) その他の課題新代田-24(-264-)

【新代田地区防災計画作成団体(防災塾参加団体)】

代田4丁目町会	代田北町会
根津山会	大原南町会
代田東町会	大原北町会
代田南町会	大原西町会
守山町会	羽根木町会

1 新代田地区の特性

(1)自然特性

面積	1.42 Km ²	最高標高	57.9 m	最低標高	30.9 m
----	----------------------	------	--------	------	--------

位置



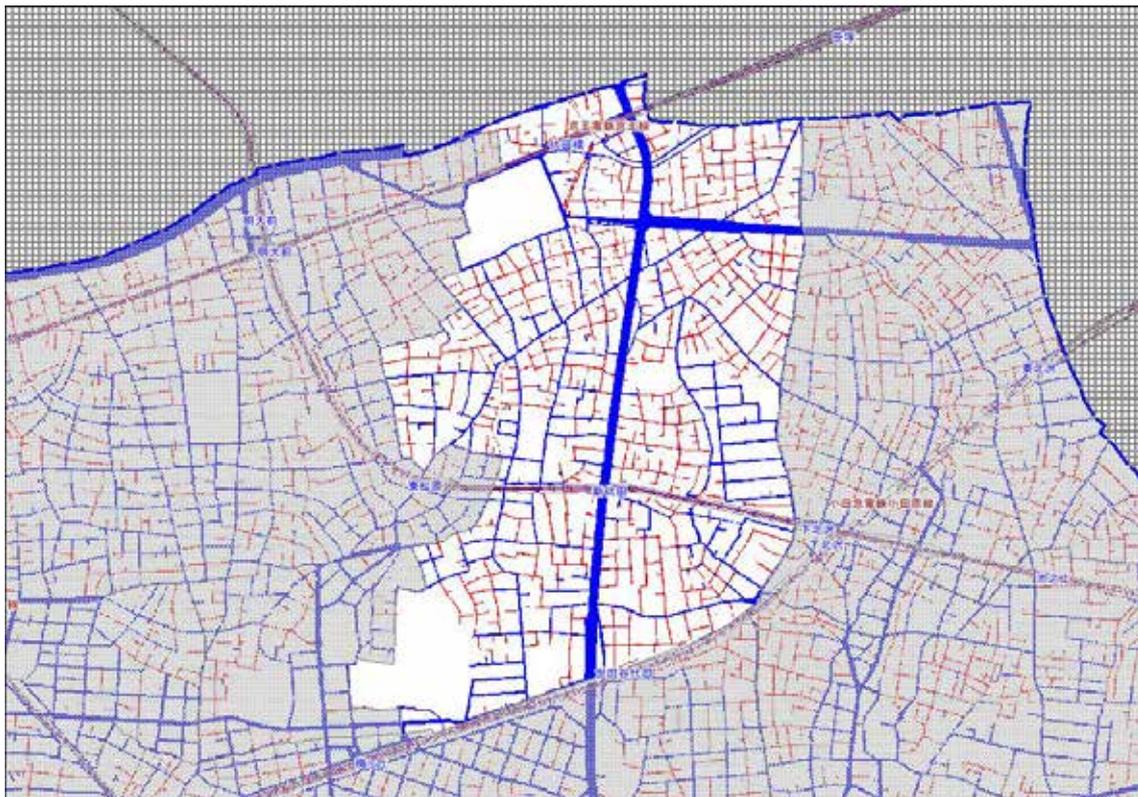
標高・急傾斜地・土砂災害危険箇所



(2)社会特性

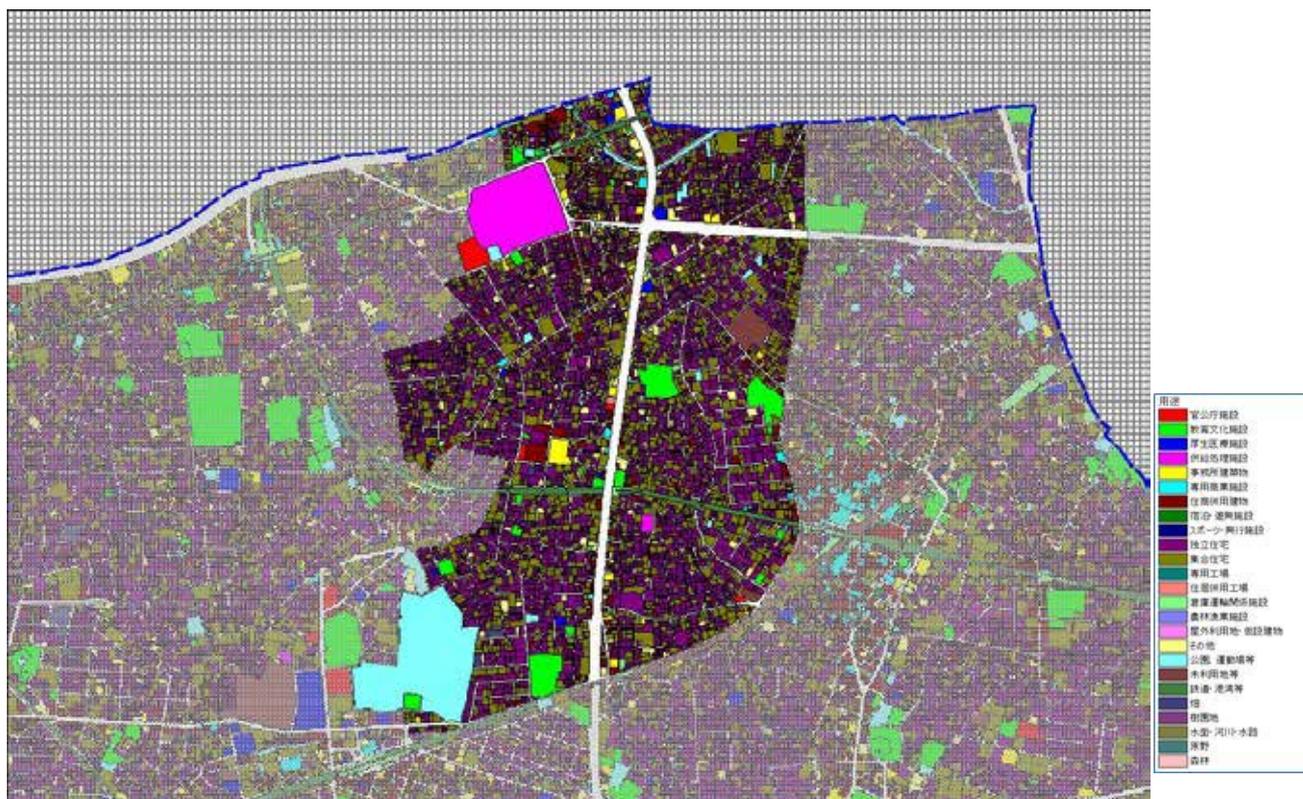
人口	25,637 人	細街路率	53.7 %	
世帯数	16,071 世帯	昭和56年以前木造建物棟数密度	118.4 棟/Km ²	
1世帯あたり	1.60 人	耐火率(建築面積ベース)	55.0 %	
若年層数(15才未満)	2,040 人	土地利用(宅地)	71.7 %	
若年層率(15才未満)	8.0 %	土地利用(宅地以外)	28.3 %	
高齢者数(65才以上)	4,848 人	鉄道駅	京王線代田橋駅 京王井の頭線新代田駅 小田急小田原線世田谷代田駅	
高齢者率(65才以上)	18.9 %			
昼間の人口	19,058 人	産業	商業	86.3 %
夜間の人口	25,132 人		工業	10.5 %
昼夜間人口比	0.76 -		農業	3.1 %
町会・自治会数	10 -			

道路・公共交通機関



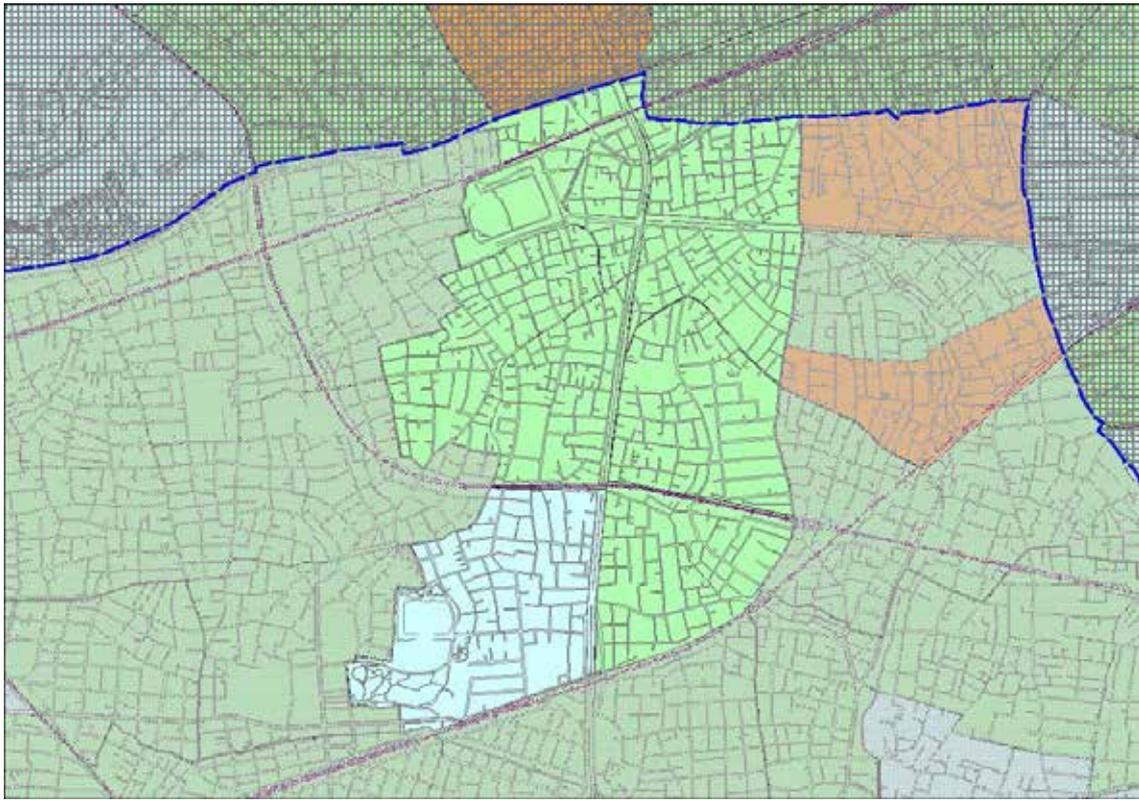
(2)社会特性

産業

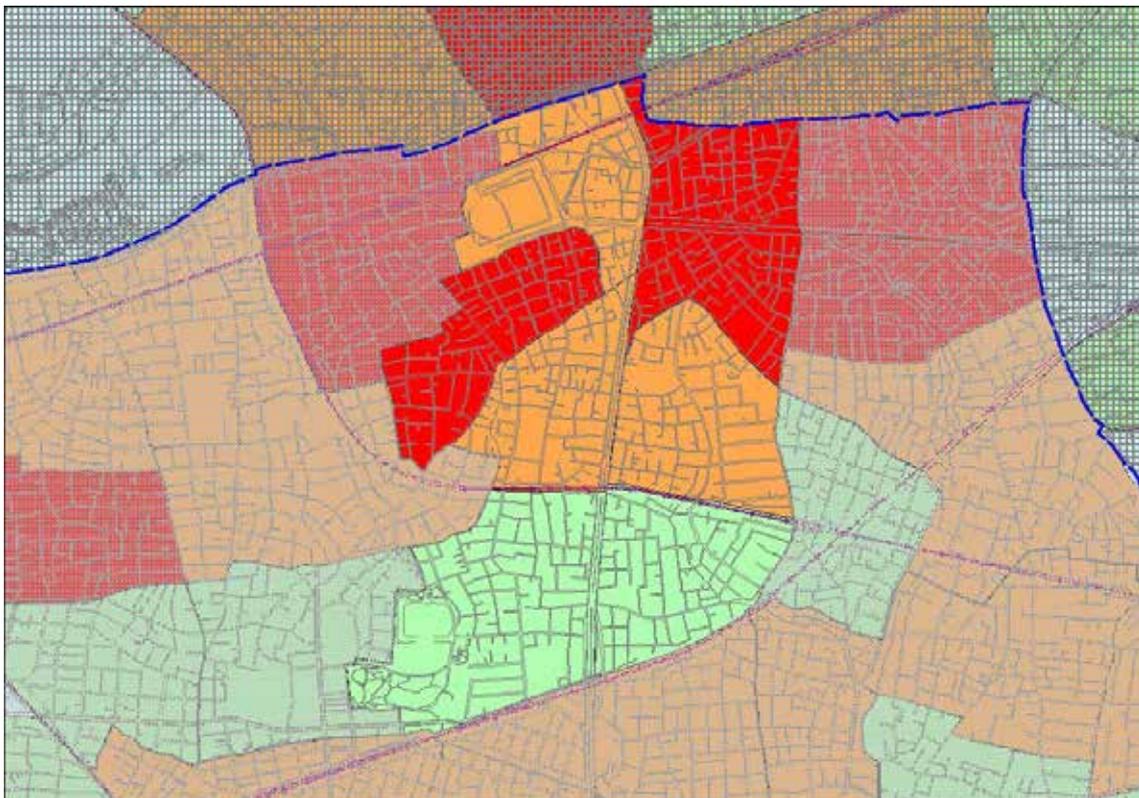


(3)地域危険度

建物倒壊危険度



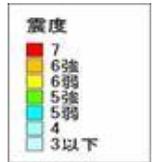
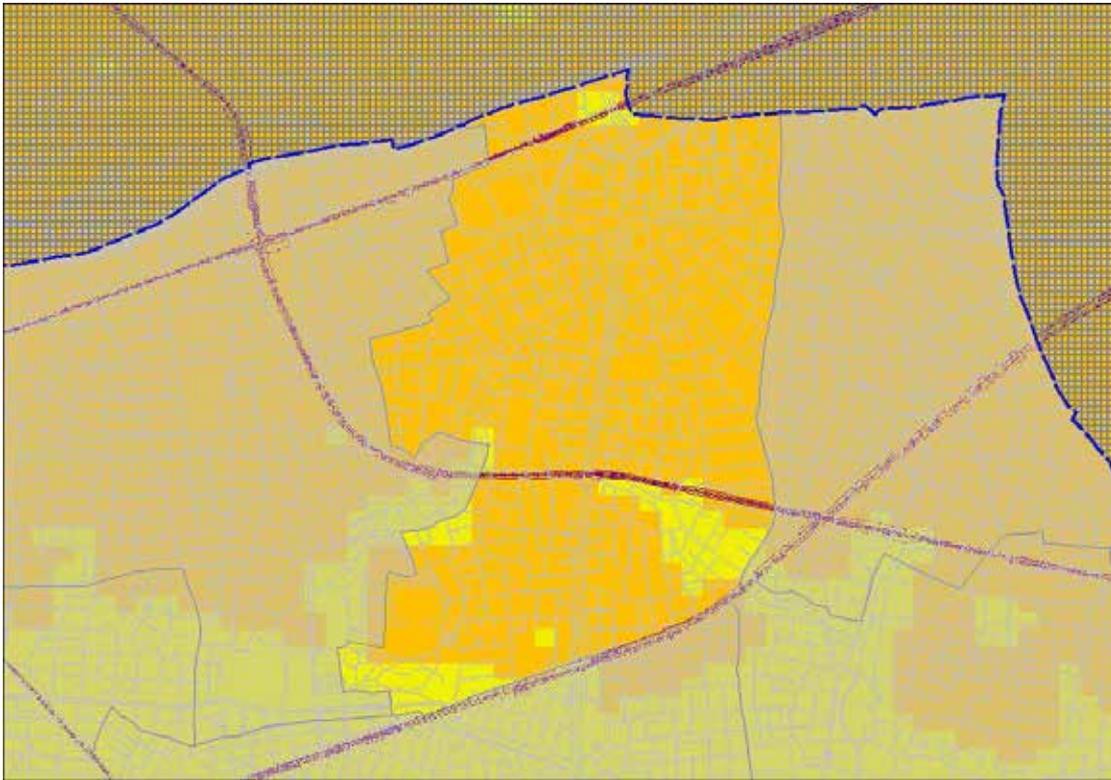
火災危険度



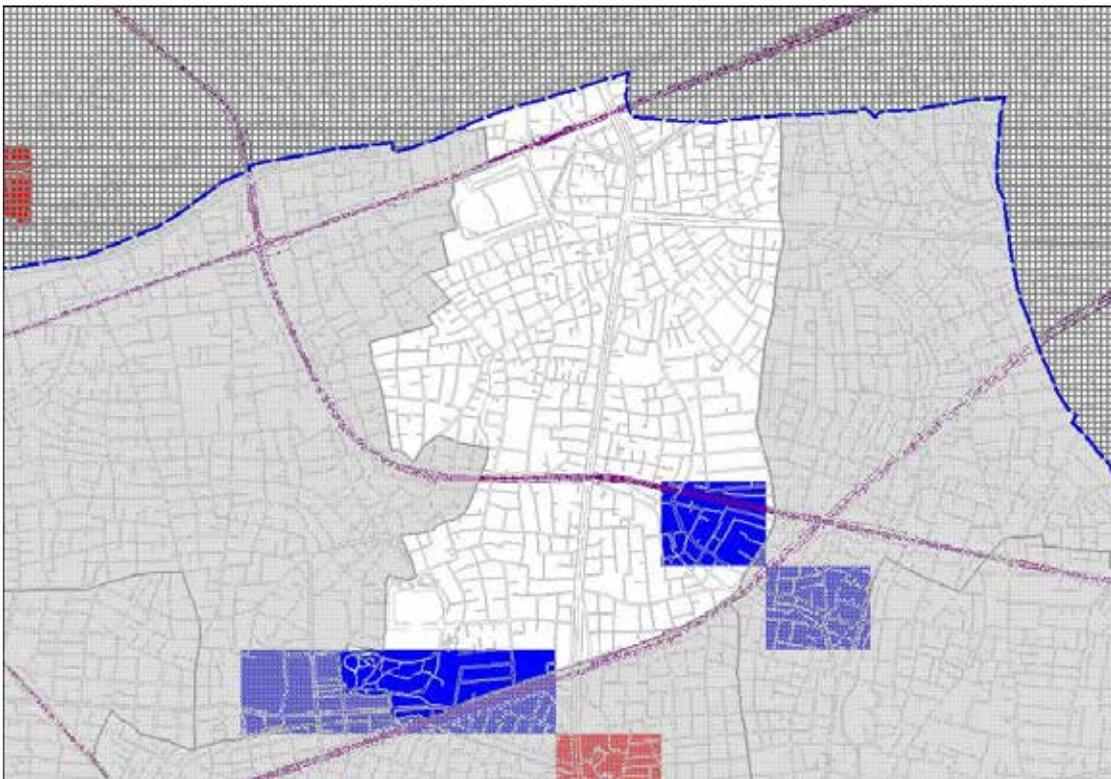
(4)被害想定

全壊棟数	201 棟	死者	28 人
半壊棟数	578 棟	負傷者	321 人
全焼棟数(倒壊建物含まず)	1,180 棟	うち重傷者	59 人

震度分布

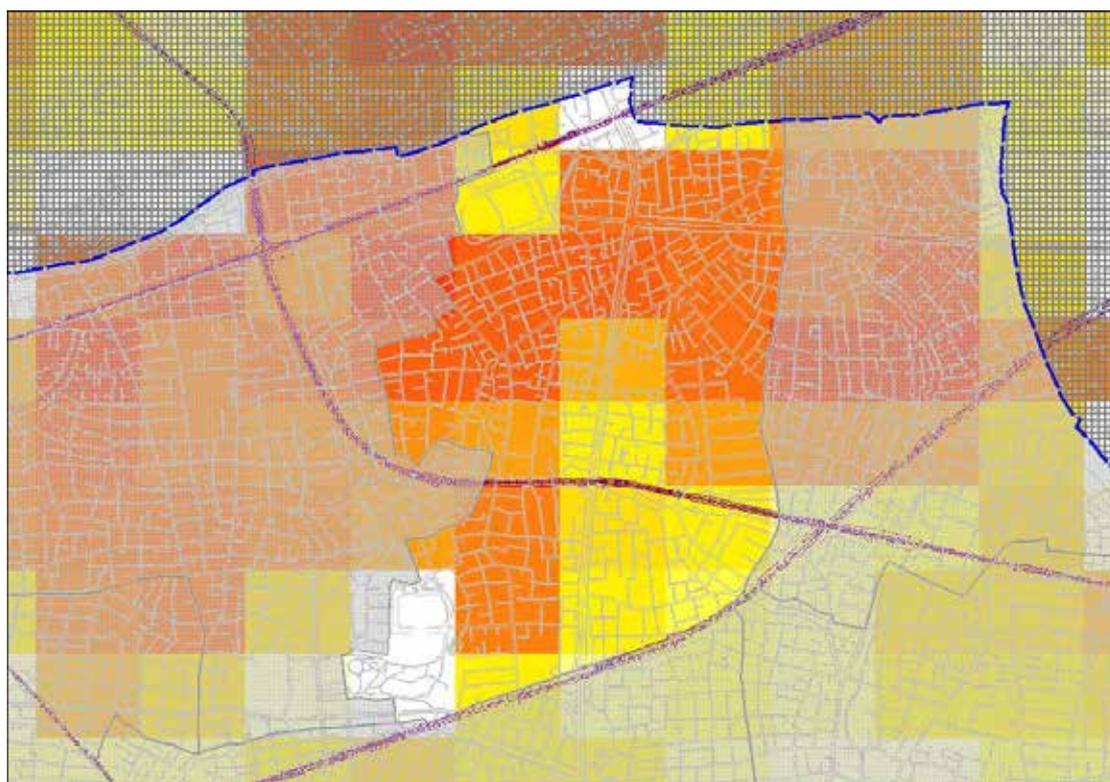


液状化分布



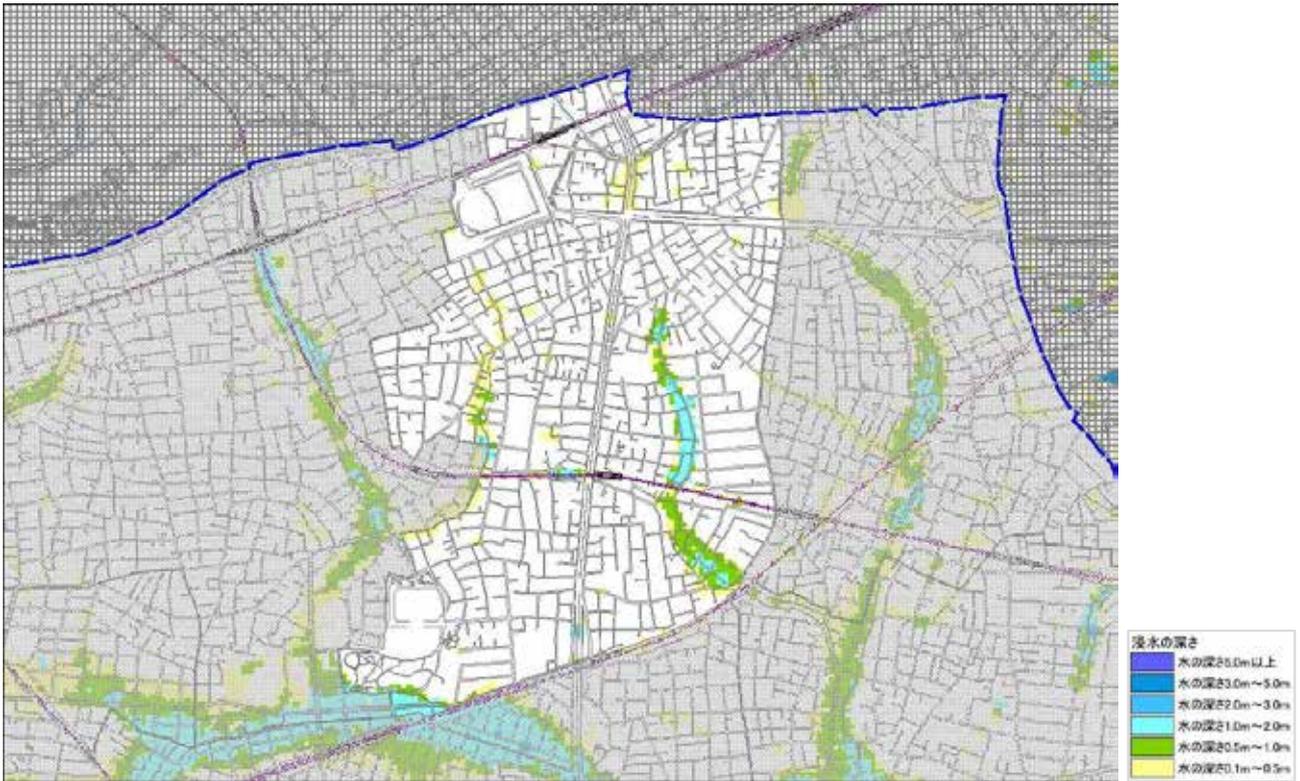
(4)被害想定

被害棟数分布

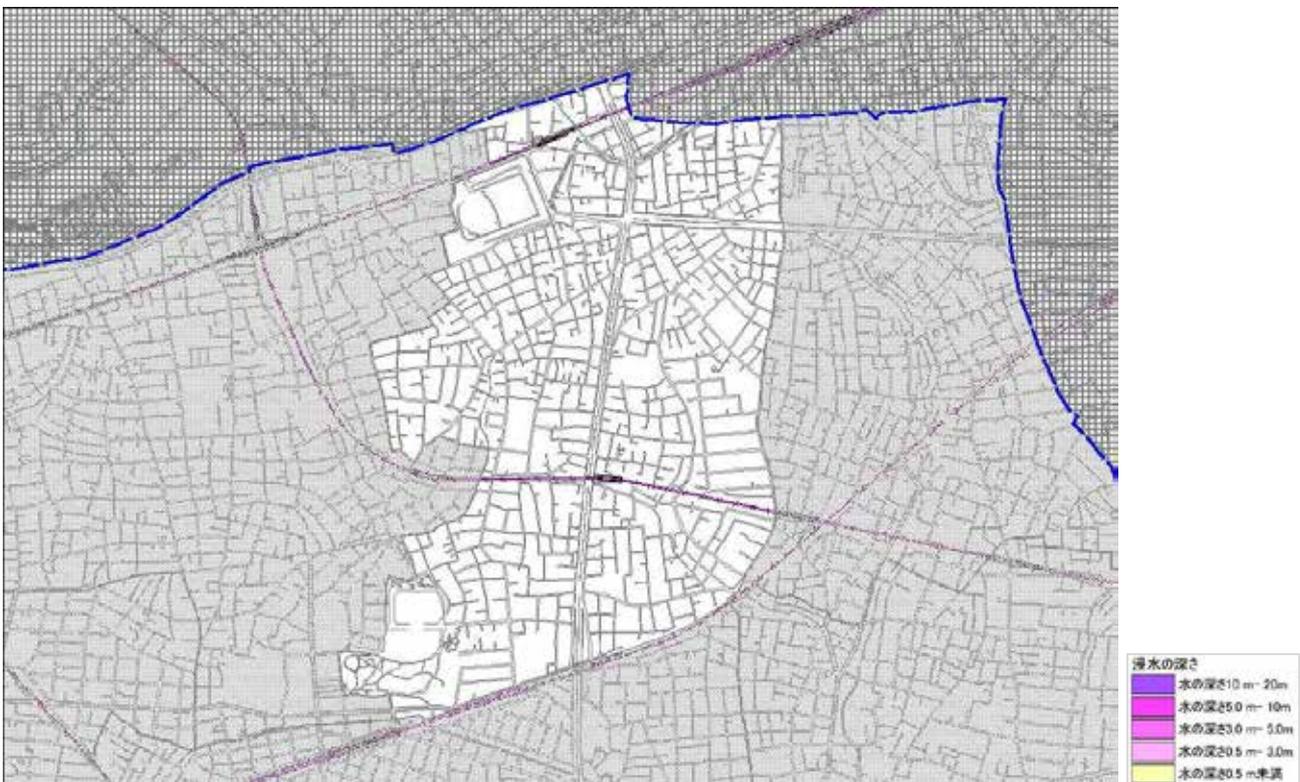


(4) 被害想定

浸水想定（内水氾濫・中小河川洪水版）



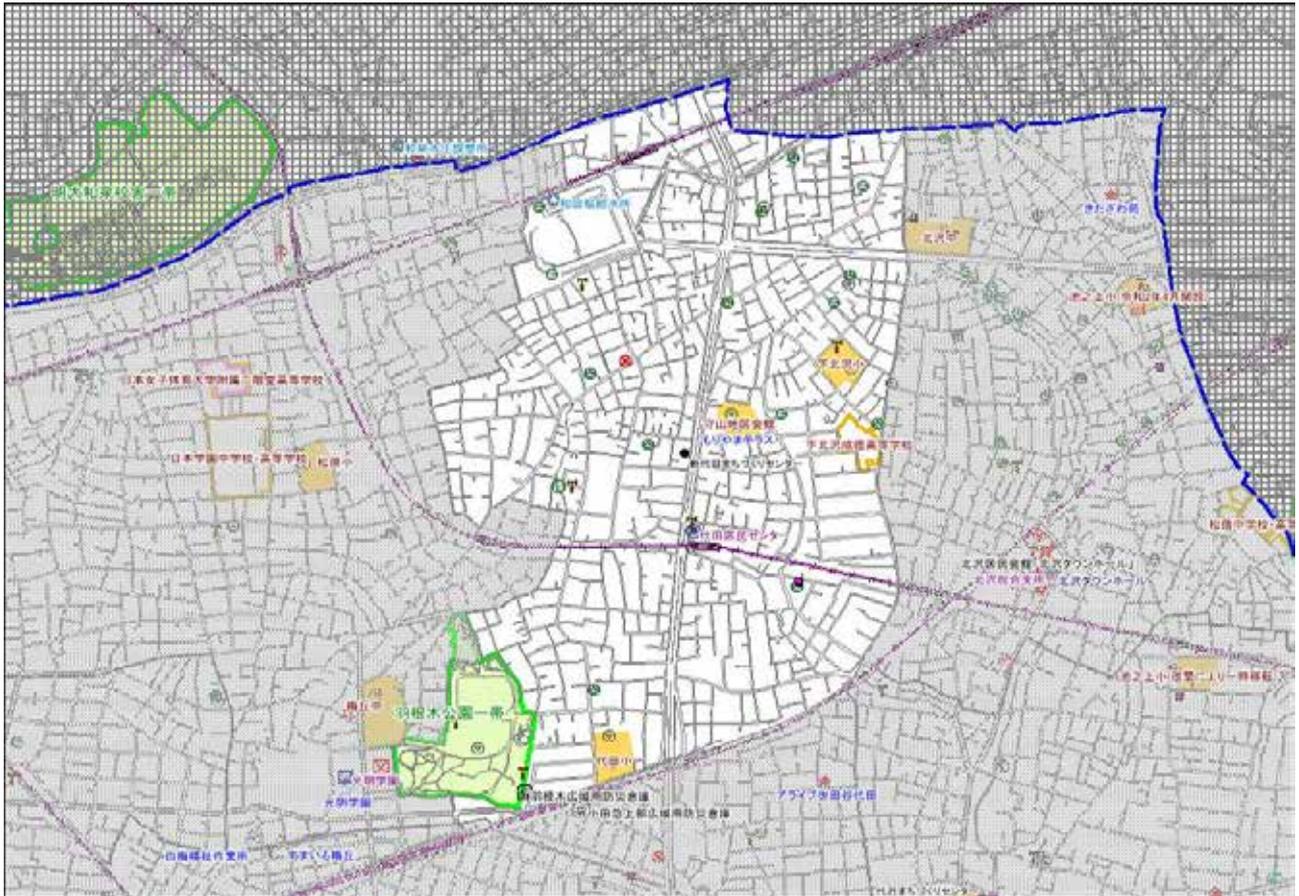
浸水想定（多摩川洪水版）



(5)防災資源一覧

広域避難場所	羽根木公園一帯				
一時集合所	代田小学校 羽根木公園 北沢土木管理事務所前 世田谷代田駅周辺 代田5丁目公園 まもりやまテラス(旧守山小学校) 下北沢成徳高等学校 下北沢小学校 代田北広場 大原南広場 大原さんかく公園 玉川上水緑道 和田堀給水所周辺(路上) 羽根木神社 羽根木1丁目公園 羽根木2丁目公園				
指定避難所	代田小学校 まもりやまテラス(旧守山小学校) 下北沢小学校				
予備避難所	下北沢成徳高等学校				
母子避難所					
福祉避難所(高齢者)					
福祉避難所(障害者)	まもりやま工房(まもりやまテラス内)				
水害時避難所(第1次)		野川・仙川洪水時避難所			
水害時避難所(第2次)					
医療救護所	代田小学校				
東京都災害拠点病院					
東京都災害拠点連携病院					
緊急医療救護所					
一時滞在施設					
帰宅支援ステーション		帰宅困難者支援施設		1	ヶ所
ボランティアマッチングセンター					
マンホールトイレ	6	防災無線塔	6	緑地	1
輸送拠点					
給水拠点	和田堀給水所				
広域用防災倉庫	羽根木広域用防災倉庫				
土のうステーション	代田五丁目公園				
警察署・交番	羽根木交番				
消防署・出張所					

(6)防災資源マップ



○ 総合支所	■ 広域避難場所
● まちづくりセンター	■ 指定避難所
⊗ セタがや災害ボランティアセンター	■ 予備避難所
⊞ 広域防災倉庫	□ 母子避難所
● 給水拠点	★ 福祉避難所(高齢者)
⌂ 防災無線塔	☆ 福祉避難所(障害者)
⊙ マンホールトイレ	🏠 水害時避難所(第1次)
■ 土のうステーション	🏠 水害時避難所(第2次)
🚓 警察署	📍 野川・仙川洪水時避難所
🚚 交番	🏥 医療救護所
🚒 消防署	🏥 東京都災害拠点病院
🚒 消防出張所	🏥 東京都災害拠点連携病院
🌳 身近な広場	🏥 緊急医療救護所
🌳 公園	🌊 一時滞在施設
🌳 緑地	🏠 指定支援ステーション
	🏠 帰宅困難者支援施設
	🏠 ボランティアマッチングセンター
	📍 輸送拠点等

出典

世田谷区土砂災害ハザードマップ 令和元年9月

世田谷区の町丁別人口と世帯数 令和2年4月1日現在

町丁別屋間人口(推計) 平成27年国勢調査 東京都 平成27年10月

平成28年度土地利用現況調査データ 平成29年3月

首都直下地震等による東京の被害想定報告書 東京都防災会議 平成24年4月18日公表

世田谷区洪水・内水氾濫ハザードマップ 令和2年9月

世田谷区防災マップデータ 令和2年2月

2 各団体の防災活動～現在の取組状況～

団体名	防災担当者数	防災に関する会議		防災活動、資機材配備等の実施		消火資機材の配備							
		実施している	実施していない	会議名	(年間回数)	実施している	実施していない	配備している	配備していない	スタンドパイプ		D型ポンプ	
										数量	場所	数量	場所
代田4丁目町会	11	○				○		○		1	防災倉庫	1	防災倉庫
根津山会	6		○						○				
代田東町会防災部	7	○		町会理事会及び防災部	2	○			○			2	町会会館、町会内小公園
代田南町会	12	○		町会役員会	10	○			○	6	町内消火栓近くに配置		
守山町会	10		○						○				
代田北町会	14		○			○			○	2	町会防災倉庫、町会内アパート横	1	町会防災倉庫
大原南町会	9	○		大原南町会役員会	12	○			○	2	大原1-7、大原1-20	1	大原さんかく公園防災倉庫
大原北町会	6	○		防災訓練	4	○			○	4	会館倉庫、防災倉庫×3	4	防災倉庫×4
大原西町会	8	○		大原西町会防災部	10 3	○			○	4	大原稲荷神社	1	大原稲荷神社
羽根木町会防災組織	16	○		町会定例会議	6	○			○	2	羽根木2丁目公園、羽根木神社	1	羽根木2丁目公園

団体名	消火資機材の配備				防災訓練等の実施							
	消火器		その他		実施している	実施していない	防災訓練		救命救急講習会		その他	
	数量	場所	名称	場所			回数	実施場所	回数	実施場所	訓練名称	実施場所
代田4丁目町会			パール、角棒、担架、ジャッキ、防火服、防災ヘルメット	防災倉庫	○		1	地区会館又は代田小学校	1	区開催参加		
根津山会						○						
代田東町会防災部	2	町会会館			○		1	町会会館、代田小学校	1	町会会館及び町会小公園		
代田南町会					○		2	スタンドパイプ配置所				
守山町会						○						
代田北町会						○						
大原南町会					○		1	下北沢小学校及び周辺				
大原北町会	2	町会会館	パール、角棒、担架、ジャッキ	防災倉庫、町会会館	○		6	かるがも公園、GoGo公園				
大原西町会			C型ポンプ	大原稻荷神社	○		1	玉川上水緑道公園			D型、C型ポンプ	大原稻荷神社
羽根木町会防災組織					○		1	下北沢小学校			D型ポンプ、スタンドパイプ、消火器操作	羽根木神社

団体名	防災マップ											防災士等の数				災害時連携・協定 (区を除く)					
	作成済	作成中	作成検討中	作成予定なし	掲載情報							防災士	把握していない	地域防災リーダー	把握していない	他団体との連携	協定締結	特になし	連携先・内容	協定先・内容	
					一時集合所	広域避難場所	避難所	街路消火器	防火水槽	震災用井戸	消火栓										その他
代田4丁目町会	○				○	○	○	○	○	○	○	AED	1		2				○		
根津山会				○										○		○			○		
代田東町会防災部			○										1		1				○		
代田南町会				○											1				○		
守山町会				○										○		○			○		
代田北町会	○				○	○	○	○	○	○	○	AED	1			○	○			羽根木町会	
大原南町会				○										○		○	○			隣接町会との 情報・物資交流	
大原北町会	○				○	○	○	○	○	○	○		1			○			○		
大原西町会		○			○		○		○					○		○			○		
羽根木町会防災組織			○											○		○			○		

団体名	避難行動要支援者協定			避難行動要支援者対策				連絡手段の確保			防災活動に関するマニュアル (避難所運営マニュアルを除く)				
	締結している	検討中である	予定はない	日頃からの見守り活動	要支援者体験	その他	特に実施していない	簡易無線	連絡網の作成・整備	その他	策定済み	策定中	検討中	予定なし	名称
代田4丁目町会			○	○			○	○			○				
根津山会	○					町会役員が把握	○							○	
代田東町会防災部		○				町会内を月1～2回、3班に分かれてパトロールする							○		
代田南町会	○			○				○						○	
守山町会			○				○							○	
代田北町会			○	○									○		
大原南町会		○		○	○			○					○		
大原北町会	○			○		町会役員担当、年2回実施		○					○		
大原西町会			○			班別にて、訪問して現況を町会常会に状況を報告する								○	
羽根木町会防災組織			○				○	○						○	

団体名	救出救助に係る資機材の配備															その他	保管場所	
	配備していない	配備している	リアカー	はこび	脚立	担架	救急セット	ヘルメット	救助工具セット	バール	スコップ	手おの	のこぎり	ジャッキ	両口ハンマー			ツルハシ
代田4丁目町会		○				1	1	550		5				2				防災倉庫
根津山会	○					1							1					町会長宅庭
代田東町会防災部		○			2	1		20		2	5	2	2		2			町会会館、町会内小公園
代田南町会	○																	
守山町会	○																	
代田北町会		○	1		1	3	2	40	1								防災用ガソリン缶、灯油缶	町会防災倉庫
大原南町会		○	1					10		1							車椅子1台、放水用水槽 1個	大原南広場防災倉庫
大原北町会		○	2		1	1	3	7	1	1	3	1		1				町会会館
大原西町会		○	3	1		1	1	20		5	10	2	1	1	1	2	テント3張	大原稻荷神社
羽根木町会防災組織		○	2			1	1										放水用水槽1個(D型ポンプ用)	羽根木2丁目公園

団体名	食糧等の備蓄														保管場所	
	備蓄していない	備蓄している	アルファ米	ビスケット・乾パン	おかゆ	飲料水	缶詰類	レトルト食品類	カセットコンロ	その他災害用食料	非常用トイレ	照明	発電機	給水タンク		その他
代田4丁目町会	○															
根津山会		○		100												
代田東町会防災部		○		200			300									町会と館内
代田南町会	○															
守山町会	○															
代田北町会		○	600	600		90						2		30 ^{リットル} ×20 (簡易)	防寒用シート 100枚	町会防災倉庫
大原南町会		○	300	1270												大原南広場防災 倉庫
大原北町会		○	1500	1500	500						3	3	4			町会会館、会長宅
大原西町会		○	200	2缶	100	200	60	100	2			5	2			大原稻荷神社
羽根木町会防災組織		○		240		336										羽根木神社

団体名	食糧等の備蓄	その他の防災活動
	備蓄品配布先	
代田4丁目町会		年末の見回り、防災ヘルメットの配布(年1回)
根津山会		
代田東町会防災部		
代田南町会		年末に夜警(火の元注意)を実施予定
守山町会		避難所運営会議を年3回程行う
代田北町会		
大原南町会	大原南町会会員(住民)他	
大原北町会		簡易無線機(3台)
大原西町会	大原稻荷神社	
羽根木町会防災組織	羽根木神社	歳末夜警巡回活動実施

3. 新代田地区の課題と今後の取り組み

課題1 情報収集・情報伝達

■1班(大原北町会、大原西町会)

①現状(意見)

- ・災害に関する情報を、どのように把握し、どこへ伝達するか、その判断が重要なポイントである。
- ・災害時には、混乱等により防災無線や行政無線は十分な機能が果たせない可能性がある。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・町会役員は、日々の訓練を通して、避難者に関する情報収集や管理方法を熟知している。
- ・災害時には30分以内に災害対策本部を設置できる体制を進めている。
- ・近隣の被害状況等の確認や円滑な情報伝達ができるように、一時集合所にも町会役員を配置している。
- ・さまざまな災害状況を想定して、定期的に防災訓練を実施している。
- ・町会名簿を定期的に更新している。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・集合住宅も含めた防災用の名簿の作成と整備を進めていく。
- ・町会相互の連携を図る(無線機等を活用した情報の共有化)。
- ・町会の無線機が発災時に活用できるよう検証を進める。【大原西町会】

■2班(代田北町会・羽根木町会)

①現状(意見)

- ・防災に関する印刷物は、内容の点検や確認、更新を定期的に行う必要がある。
- ・防災情報の周知方法をどのように行うのか、整理しておく必要がある。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・町会独自で防災マップを作成し配付している。
- ・緊急連絡シートを世帯ごとに配布し、家庭内で家族の安否確認ができるように活用してもらっている。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・防災マップの内容について、定期的な更新作業を検討する。

■3班(代田東町会・代田南町会・守山町会・大原南町会)

①現状(意見)

- ・情報の収集について、スマートフォンや携帯電話を所有しない住民もいるのではないか。
- ・手軽に情報が入手できる、ラジオの活用を進めるべきである。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・避難所に電話機を設置する。
- ・連絡用の無線機を所有している。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・情報収集が容易にできる、ラジオの普及を進める。
- ・まず隣近所への情報伝達を心がけていく。

■4班(代田4丁目町会・根津山会)

①現状(意見)

- ・スマートフォンは情報収集ツールとして有用だが、高齢者には使い方がわからない場合がある。

②現在地区で取り組んでいる内容

- ・災害時に備えて、町会役員の緊急連絡網を作成している。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・町会加入者全員の情報を網羅した、緊急連絡網の作成を目指す。
- ・自治体が作成、発行した資料の周知とその活用を推進する。
- ・定期的なパトロールを実施し、地区の危険箇所の把握とその情報周知を図る。
- ・防災マップの利用の仕方、高齢者への避難の伝達方法について考えていく必要がある。【代田4丁目町会】

課題2 地域・コミュニティ作り

■1班(大原北町会、大原西町会)

①現状(意見)

- ・個人情報の収集とプライバシーの保護をどのように両立させるか。
- ・これから地域を支える新たな担い手をどのように育成していくか。
- ・地区の中学校や高校の生徒を巻き込んだ防災活動を進めることはできないか。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・地区の中学校や高校へ個別に要請し、防災訓練等への参加を促すチラシを配付している。
- ・町会の活動を知ってもらえるように説明した。【大原北町会】
- ・建築中のマンションに加入促進をしている。【大原西町会】

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・共同住宅等への入居者に関する情報を把握するため、建物の管理会社等との連携、協力要請を検討する。
- ・学校やPTAとの情報共有を図り、生徒との連携を深める方策を模索する。

■2班(代田北町会・羽根木町会)

①現状(意見)

- ・集合住宅居住者の情報をどのように収集するのか。
- ・災害に対する危機感よりも、プライバシー保護を優先に考えている住人が多いのではないか。
- ・学校との連携を充実する必要がある。
- ・若者への働きかけを推進する。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・町会掲示板を活用して、防災に関する情報提供を行っている。
- ・地区の防犯パトロールを実施し、危険箇所等の確認や把握に努めている。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・集合住宅居住者に対する、防災活動の重要性を効果的に周知する方法を検討する。
- ・防災訓練等への積極的な参加を促進するための効果的な働きかけを進める。

■3班(代田東町会・代田南町会・守山町会・大原南町会)

①現状(意見)

- ・防災力を高めるために、町会への強制的な加入を進めることはできないが、加入してもらうための何らかの工夫は必要である。
- ・私立学校との情報交換が希薄ではないか。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・公立の学校と、常に情報の共有を図っている。
- ・募金活動に付随して、防災訓練等への参加を促している。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・災害時の連携が図られるよう、近隣の私立学校への働きかけを進める。【代田南町会・大原南町会】
- ・小学生や中学生その保護者を対象に、防災訓練参加を求める取り組みを進める。
- ・私立学校に備蓄品や資機材の置き場を提供してもらうよう要請していく。【代田南町会】

■4班(代田4丁目町会・根津山会)

①現状(意見)

- ・町会への加入促進も含めて、共同住宅の管理人等への災害時における協力要請を働きかけてはどうか。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・地区の中で「お互いの顔が見える」活動の一環として、小学校の登下校時間を活用し、あいさつ運動を積極的に行っている。
- ・親と子どもたちの円滑なコミュニケーションの形成を促すためのイベントを実施

している。

- ・小学校と連携し、定期的に避難所運営訓練を実施している。
- ・「おやじの会」主催の防災訓練を定期的に実施している。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・避難所運営訓練等の実施にあたり、おやじの会だけではなく、地区内の他団体との連携を図っていく。
- ・地区の住民を対象とした、防災倉庫内の用具の確認や、それらの用具の使用訓練の実施を検討する。【代田 4 丁目町会】
- ・マンション居住者への町会加入の促進に向けた取り組みと併せて、防災訓練等への参加の要請を進める。

課題3 安否確認・要配慮者支援

■1班(大原北町会、大原西町会)

①現状(意見)

- ・収集した要配慮者に関する、さまざまな個人情報の保護を徹底する必要がある。
- ・個人のプライバシーを守ることによって、十分な対応が難しくなる場面も出てくる可能性がある。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・災害時要援護者支援協定を締結している。
- ・民生委員の把握している情報(名簿)を活用している。
- ・定期的に「要援護者名簿」に基づいて、地区の巡回を行っている。
- ・町会独自で全世帯を対象に「安否確認板」を配付し、高齢者や要配慮者宅の玄関に表示できるようにしている。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・災害時の安否確認(安否確認板等の活用)が把握できるよう、集合住宅に入居している方の情報を管理会社等と共有ができないか検討する。

■2班(代田北町会・羽根木町会)

①現状(意見)

- ・個人情報保護の壁をどうクリアするか、大きなテーマである。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・民生委員による地区のみまもりを定期的に行っている。
- ・地区に居住する 75 歳以上の方の情報を把握している(自己申告制)。
- ・地域のみまもりネットワークを立ち上げている。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・災害時要援護者支援協定の締結を目指す。
- ・「みまもり見回り名簿」の作成を検討する。

■3班(代田東町会・代田南町会・守山町会・大原南町会)

①現状(意見)

- ・個人情報保護の壁をどのように乗り越えるか、検討が必要である。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・町会で独自の名簿を作成している。
- ・支援が必要な世帯に対して、玄関先に掲出する赤い札を配付している。
- ・町会長自らが、要配慮者宅を巡回訪問し確認を行っている。
- ・地区の班長が定期的に巡回し状況を把握している。
- ・大きな地図に要配慮者をマッピングしている。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・何らかの配慮や支援が必要な方への訪問を定期的に行い、要配慮者の情報収集の手法を検討する。【代田南町会・大原南町会】
- ・正確な地域の災害状況の把握方法を検討していく。
- ・町会が主体となって、高齢者の居住情報の把握を進める。
- ・隣近所の人を気にかけて孤立させないようにしていく。

■4班(代田4丁目町会・根津山会)

①現状(意見)

- ・個人情報を収集するのは、かなり大変なことではないか。
- ・安否確認については、まずは家族がきちんと状況を把握しておく必要がある。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・災害時要援護者支援協定を締結している。【根津山会】
- ・町会役員が、要配慮者に対する救護活動の役割分担を明確にしている。
- ・救助活動に必要な物品や用具類を配備している。
- ・「敬老の日」に高齢者宅を訪問し、状況の把握に努めている。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・普段から、災害対策について「家族で話し合える」情報の提供を進める。

課題4 初期消火活動

■1班(大原北町会、大原西町会)

①現状(意見)

- ・町会で配備している防災用具が十分に活用できるか不安である。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・消火器具の使用訓練を定期的実施している。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・さまざまな機会を通じて、防災用具の使用方法や活用法に関する情報提供、訓練を継続的に実施していく。

■2班(代田北町会・羽根木町会)

①現状(意見)

- ・防災用具(スタンドパイプ)の操作方法を熟知している住民が、どの程度いるのか不安である。
- ・定期的な訓練計画を立てることが重要である。
- ・防災倉庫やD級可搬ポンプは、地域の状況等も勘案して配備する必要がある。
- ・避難場所の周知について、住人の目に付きやすい場所に表示をすることができないか。
- ・避難訓練等への参加者の拡充を進める必要がある。
- ・訓練の回数や内容の充実を図り、住民が参加しやすい訓練を行う必要がある。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・定期的な避難訓練を実施し、併せて避難用具の操作説明を参加者に行っている。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・避難訓練の参加者を増やすための働きかけを継続的に進めていく。
- ・誰でも使用できるように、防災用具(スタンドパイプ)の操作方法の説明や用具の配置、活用方法を検討する。【代田北町会】
- ・防災用具(スタンドパイプ、発電機)の増設、また、操作できる人材を増やす。
- ・町会独自の消防計画を策定し、その計画に基づいた訓練の実施を目指す。

■3班(代田東町会・代田南町会・守山町会・大原南町会)

①現状(意見)

- ・地区によって防災用具に格差(人員・場所・台数)があるのではないかと。
- ・防災物品の保管場所の確保が難しい。【代田南町会】
- ・防災用具(スタンドパイプ)を操作できる住民の確保が難しい。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・避難所訓練を定期的実施し、防災用具の使用説明を行っている。
- ・年1回訓練を継続している。【大原南町会】

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・防災物品の拡充と保管場所について、行政とも充分調整を図りながら、確保を進める。【代田南町会】
- ・防災用具の取り扱いに関する訓練の回数と参加者の拡充を図る。【代田東町会・代田南町会・大原南町会】

■4班(代田4丁目町会・根津山会)

①現状(意見)

- ・消火活動の役割分担を明確化しておく必要がある。
- ・地区の住民が、防災用具の使用方法を理解しているか不安である。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・町会内で消火活動の役割分担を定めている。
- ・避難所運営訓練を定期的に行い、災害時に備えている。
- ・スタンドパイプの使用訓練を定期的に行っている。
- ・町会加入者を対象に、防災用ヘルメットを配付している。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・町会が主催する防災訓練の開催頻度を増やし、訓練への参加者拡大を図る。

課題5 避難誘導

■1班(大原北町会、大原西町会)

①現状(意見)

- ・広域避難場所が地区から遠い場所にあるため、一時集合所の積極的な活用を図る必要がある。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・地区防災マップを作成、配布し、情報提供を行っている。
- ・避難所運営訓練を定期的に行っている。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・避難所訓練を定期的、かつ継続的に実施していく。【大原西町会】
- ・広域避難場所や一時集合所の充実とルート確認や安全に移動できる手段等を検討する。

■2班(代田北町会・羽根木町会)

①現状(意見)

- ・災害時に混乱を招かないように、避難所施設の使用方法や避難所運営の方法を明確にしておく必要がある。
- ・学校、避難所施設に子どもたちがいる場合等、あらゆる場面を想定して避難所運営訓練を行うべきである。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・町会役員が主体となって訓練等への参加、運営を行っている。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・避難訓練等の情報提供の方法を検証し、地区住民への周知徹底、参加者の拡大に繋がる方策を模索する。
- ・避難所施設の利用方法等について見直しが必要である。
- ・避難所の開設がスムーズにできるよう避難所運営訓練に力を注ぐ。

■3班(代田東町会・代田南町会・守山町会・大原南町会)

①現状(意見)

- ・防災用具(スタンドパイプ)の保有数について、地区によってばらつきがある。
- ・一時集合所の場所について、どの程度の住民が認知しているかわからない。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・定期的に避難所訓練を実施し、避難所の円滑な設営や運営を心掛けている。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・地区の安全を担保するため、学校の見回り要員の増員を進める。

■4班(代田4丁目町会・根津山会)

①現状(意見)

- ・防災士や救命救急講習受講者の活用を図ることができないか。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・避難所運営訓練を定期的実施している。
- ・地区内の避難ルートを確認を行い、安全確保に努めている。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・防災訓練の実施にあたり、多く住民が参加できる訓練の方法を検討する。
- ・防災マップを使い、安全に避難できるルートを説明する必要がある。【代田4丁目町会】
- ・地区の中で「顔が見える関係づくり」を進める方策を検討する。・学校PTAを通して防災訓練の参加者を集める。

課題6 その他の課題

■1班(大原北町会、大原西町会)

①現状(意見)

- ・教育活動の一環として、防災の重要性や災害時の心掛け等、意識改革を図る必要があるのではないか。
- ・地区住民の防災意識を高めるためにも、継続的に啓発活動を進める必要がある。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・防災訓練等の実施に関するチラシの配付や回覧を行い、参加を促している。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・地区住民の防災意識を高めるため、継続的な防災活動に関する情報の周知をするとともに、新たな情報提供の手法を模索する。

■2班(代田北町会・羽根木町会)

①現状(意見)

- ・台風や集中豪雨等による、浸水被害への対策が必要である。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・町会独自の防災マップを配付し、災害への注意喚起と防災への意識啓発を行っている。
- ・気象情報等を確認し、必要に応じて現地確認を行い被害状況の把握とその後の対応を行っている。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・浸水被害が発生しやすいエリアに対して、必要に応じパトロールを進めていく。【代田北町会・羽根木町会】
- ・浸水被害に関する注意喚起を進める。【代田北町会・羽根木町会】
- ・町会作成の「防災マップ」の見直しを検討する。【代田北町会】

■3班(代田東町会・代田南町会・守山町会・大原南町会)

①現状(意見)

- ・以前よりも住民の防災に対する意識は高まっている。
- ・日頃からの防災対策を推進し、災害を最小限に抑える工夫が必要である。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・避難所訓練実施に関するチラシ等を配付し、情報提供を行っている。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・防災意識の一層の向上を図るための具体的な働きかけの手法を検討する。

■4班(代田4丁目町会・根津山会)

①現状(意見)

- ・自助努力がもっと必要ではないか。
- ・災害時の状況について、自分たちも住民も、もっと想像力を働かせて考えて行動することが必要である。

②地区における今後の取り組みの方向性

- ・町会単位で非常用の食糧を備蓄している。
- ・防災士及び救命救急講習受講者が町会関係者に多数おり、避難所訓練等に積極的に参加している。

③各団体における今後の取り組みの方向性

- ・住民の、災害に対する想像力を鍛えるための働きかけを検討する。
- ・「想定外」や「思いもしない」等、被害を一層甚大にする要因を取り除く方策を模索する。
- ・自助努力の醸成を図るための働きかけを検討する。
- ・町会の備蓄物品に関する情報の周知方法を検討する。【代田4丁目町会】
- ・多くの住民が救命救急講習を受講できるような工夫を検討する。

